

# 「医療と経営の分離と融合」で 病院経営の可能性を広げる

複数の常勤医が横断的に担当する「ワンフロア診療」と、複数医師が専門分野を超え連携して一人の患者に寄り添う「シナジー診療」を提唱し、新潟県長岡市の「医療法人メディカルビットバレー（MBV）」を率いる澁谷裕之理事長。その評判が口コミで広がるなど、新潟県外からも注目されています。澁谷理事長へ未来への展望をうかがいました。



## 画期的な組織運営で 地方医療に新風

法人を立ち上げた当初は医師もスタッフも少数でした。それが今では常勤医の平均年齢は41歳、他のスタッフも大幅に増え、さまざまなお問い合わせにお応えしています。人口26万人超の地方都市において、黒字経営を維持する秘訣は「医療と経営のよりよい分離」という理念。澁谷理事長はこの理念を今まで一貫して掲げ、実践しています。



MBVはこれまで、医療側と経営側がフェアでフラットな関係性と信頼を築き、しっかりと意見を交わし合い、黒字経営を維持してきました。

「医療は社会性が強い。黒字を目指すというも、自分のためだけに利益を追求することは全く違います。より質の高い医療を届け、社会を良くするために医療組織の黒字経営は必須だし、クリアするのは当然のことです」

「肝心なのは「経営は分らないから」とアウトソーシングするのではなく、「組織内のメンバーだけで医療と経営の二つを動かすこと」と澁谷理事長は強調します。「自分の組織だからこそ責任を持って課題解決の判断ができるし、実行に移すこともできます。医療機関だから経営も医師がすべきというのには思い込み。医師でなくてもリーダーシップがあり、時代に即したマネジメントのできる人を仲間に入れて、医療と経営を融合すればいいだけの話です」

## チームワークが 最大のポテンシャル

取材を通して驚くのは、医師同士だけでなく、他のメディカルスタッフや事務方スタッフも含めたチームワークの良さです。澁谷理事長の理念に共感して全国から集まった医師たちは「職種の垣根がなく、互いに切磋琢磨して高め合える」「ここで働くことが本当に楽しい」と口をそろえます。

## 必要なのは 組織経営の強化と進化

「医療ではなく組織体制の問題で財政破綻する医療機関は、これからの数年でさらに増える」と澁谷理事長は予測します。

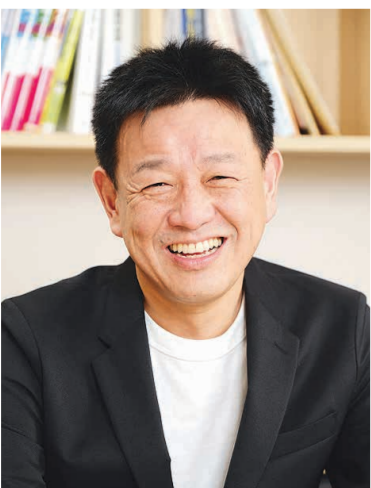
「私は5年後を常に考えています。うちはこの2年で急激に成長しましたが、これですと安泰なんて思っていない。ピークを迎えたら後は下がるだけで目減しますから、余力を残しながら少しずつでも成長し続けることが肝心なんです。今後はさらに経営に力を入れ、事業規模を拡大し、社会に貢献できる医療パワーを生み出していく。「医療と経営の分離と融合」で未来の医療に備えます」

「経営面強化のため、マネジメントエキスパートの育成や即戦力となる人材の受け入れも予定しています。「運営のプロフェッショナルと仲間になり、新たなステージを目指したい。新しい考え方が必要なんです。そのために、前例にとらわれず新たな発想を持つ医療系の従事経験のないスタッフを採用したいと考えています」

「突破せよ！」の言葉を胸に、創業



3年目で組織のテーマ「好きな仲間と、好きな場所で、ワクワク仕事して、サイコーの業績をあげる！」を実現したMBV。2023年秋には、長岡駅前の再開発エリアでの取り組みも控えており、長岡市と通じて人にも、まちづくりにも貢献するMBVの「医療イノベーション」。その進化はますます加速していきます。



### 澁谷裕之理事長プロフィール

新潟県長岡市生まれ。弘前大学医学部卒業。米沢市立病院、秋田厚生医療センターを経て長岡赤十字病院にて総合診療科副部長を務める。2020年4月「医療法人メディカルビットバレー」を設立。



医療法人 **メディカルビットバレー**  
MEDICAL BIT VALLEY

所在地:〒940-2013 新潟県長岡市下柳1-10-13 TEL:0258-86-8722